

A2-01 原稿準備の基本とノウハウ、エディターからの助言

浦上 裕光 (Royal Society of Chemistry)

学術論文は「Title, Abstract, Introduction, Experiment/Method, Discussion, Results」のような一定の構成要素で構成されており、各構成要素にはそれぞれの役割があります。この役割を理解した上で執筆を進めることは、読み手の理解を助け、関心を引き、この研究の重要性をアピールするための基本的な手続きとなります。

本セッションでは、学術論文の基本構造と構成要素について具体例を交えて紹介したいと思います。

PROFILE

浦上裕光 (Royal Society of Chemistry・RSC Japan Manager、Editorial Developmental Manager)

2004年 University of California, Santa Cruz 卒業後、2010年に University of California, Irvine で博士号取得。その後、Max Planck Institute of Colloid and Interface、日立化成株式会社を経て2013年10月より Royal Society of Chemistry で出版開発マネージャーと Royal Society of Chemistry Japan マネージャーを兼任。